昭和61年
2月1日
第241号
発　行　津奈木町役場
編　集　企画課
印　刷　水俣旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
（1月1日現在）

人口	6,160	(＋5)
男	2,925	(＋4)
女	3,235	(＋1)
世帯	1,725	(－4)

（　）内は前月との比較

生産性の安定を計り 計画的な農業経営を

甘夏価格は生産者しだい

昨年十二月のネーブルから始まった果実の採集も、ジューシー等を除けば特産の甘夏ではほぼ終り、これから家庭選別・貯蔵用袋詰とまだ忙しい日が続く訳だが、農家の皆さんが一番気になる事はまずみかんの値段。昨年は品質も良く、また品不足にも支えられ終始高値で取引され、農家の懐を潤してくれました。今年はどうなるのか？第三選果場まで足を延ばし、これからの販売予想について話を伺ってみた。

第三選果場予想出荷量
（水俣市農協分も含む）

早生甘夏	三〇〇トン
普通甘夏	六三〇〇トン
新甘夏	二四〇〇トン
紅甘夏	一六〇トン
ネーブル	四〇〇トン
伊予柑	三〇〇トン
その他	一二〇トン
合計	九九八〇トン

（対前年実績比一一九％）

総出荷予想量は、対前年実績比約二割増の九九八〇トンである。

現在の販売価格

現在出荷されている中晩柑は早生甘夏・新甘夏・ネーブル・伊予柑である。販売価格は、

早生甘夏	一五キロ	三六〇〇円
新甘夏	〃	三四〇〇円
ネーブル	一〇キロ	二三〇〇円
伊予柑	〃	二一〇〇円

で取引されておりほぼ昨年並である。

品質

外観は台風十三号襲来までは、かなり高成績で推移していたが、その後はカイヨウ病・日焼果の発生・多雨により果実の肥大が進み果皮はやや粗い。

食味は糖・酸共に低いようだが食べやすく、非常に食味は良く、特にネーブルは美味である。

価格の予想

着色期に夜温が高く特に温州においては着色が完全でなく、出荷量は各産地共に低調で味ももう一つということでみかん離れがおきている現状であるが、中晩柑においては食味が良いため昨年並の価格で推移していく見込み。ただ気になる事は、昨年十二月の寒波により県外の一部産地で被害を受けた産地があるので足を引張られる可能性がある。三月までは天成果の日焼等によるス上がり果等、内容の悪い果実を出荷しないよう、生産者の皆さんが、選別を厳重に行って頂き、三月まで現在の価格を維持できれば、昨年と同程度の価格を見込むことができる。いずれにしても他産地の被害果に足を引張られる可能性もあるが、第三選果場においては、先に述べたように家庭選別の良悪によって価格が決まるということで、生産者の意志が重要な鍵をにぎっている。

以上のようなことで生産者の皆さん、採集時には摘果不足により小玉果が目に付き、また病害虫によりカイヨウ病・黒点病や、開花期の被害果が多かったため、来年こそは、と思われた方が多かったと思うが、いずれにしても生産者の皆さん方は選別・袋詰・剪定・防除と忙しい毎日である反面、収入の計算の方も楽しい時期でもある。

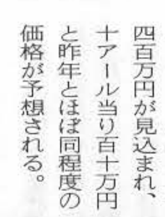
今年も農作業を手順よく行ない、日本一の甘夏の名に恥じないよう計画性のある農作業に励んで下さい。

▲甘夏みかんの撰果はじまる　第三選果場1/24

早くも植付け〝ホームランメロン〟

早くもメロンの植付けが始まった。メロン部会員十一戸の農家が共同で昨年十二月十日から二十八日播種し育苗したポット苗で、品種はホームランスターメロン。ポカポカ暖かい二重張のビニールハウス内で、一本一本丁寧に手際よく植付けられて行き、植付けが終った後は、活着を良くするため水温三十度C位のお湯をかけハウス内に霧を発生させる、この作業が二月中旬頃まで続けられ二・二ヘクタールに植付けられる訳である。

四月中旬頃になると卵の数倍もある真白いメロンの出荷時期となり、大小に選別しダンボールに詰め京阪神地方に出荷される。（この作業は六月中旬頃まで続く）今年は生産量六十トン、キロ当り単価四百円の総売上二千四百万円が見込まれ、十アール当り百十万円と昨年とほぼ同程度の価格が予想される。



メロンの植付け始まる

新しい漁業の拠点

津奈木漁協は 今

五十八年十月平国に移転した漁協の水揚げと加工品の販売がすこぶる好調。最近では他の漁協からの視察研修も頻繁にあり、新しい漁業の拠点となりつつある。

水揚げ

最近は月別を問わずどんな魚種でも水揚げされるが、主に水揚げされる魚種と月別は、

一月〜四月	タチ、スズキ、フグ、グチ
七月〜十月	モチ、ハモ、タイ、
十二月	スズキ

となっている。

現在タチ・スズキが主に水揚げされているが、タチ一箱四キロ入りで八百円から四千円、スズキはキロ五百円から千五百円で、共に昨年に比べ約一割程安く取引されている。原因は穏やかな日が続いたため県外に同魚種が多く水揚げされた。又韓国等からの輸入魚も出回っているためで、今後時化が続けば前年並に回復する見込みである。

本年度の現在までの水揚げ及び販売高は、昨年同期に比べ共に十パーセント高となっている。移転前五十七年度の水揚げ高は二六四トンであったが、六〇年度は目標の八百トンをはるかに上回ることは確実である。

水揚げ高が増加した理由として、今まで水揚げ高が少なく、キロ当り単価が安かったため、他の漁協に水揚げしていたのが当漁協へ水揚げされるようになり、最近では他の漁協からも水揚げされるようになったためで、今後更に業績を延ばすには、キロ当り単価が高くなければならず、買ってくれる仲介業者が多くなれば自然に解決するが、国道から漁協までの道路が狭いため、業者が敬遠しているということで、一日でも早く県道の拡幅が望まれる。

一・五次産業

五十九年八月から始めたスリ身・ミリン干しの加工品も順調である。

原料は水揚げされた商品として販売できない小さな魚を加工するもので、スリ身はエソ、ミリン干しはグチ・タチである。

商品は町内の「山」うどん店・西川商店・諫山商店・長浜商店・石川商店で、町外では水光社のほか数店で、一パック、スリ身三五〇円・ミリン干し四五〇円で販売しているが、時には需用が多く品切れの場合もある。

本年度の販売予定額は七八〇万円を見込んでいたが、すでに八百万円以上販売しており、六十一年度は一千万円以上を見込み、加工場の増設も計画しているという。

加工品は今のところ、ミリン干しとスリ身しかなく、今後他の商品も開発し、農協等ともタイアップして、県外の人達にもふるさとの味として宅急便等で届けるようにしたい。

漁村センター まもなく完成

昨年の十二月四日に起工式を終えた漁村センターの建設工事が急ピッチで進んでいる。

この漁村センターは、赤崎婦人会館跡地に建設されているもので、総事業費五四〇〇万円・鉄骨造二階建・延べ床面積二九九㎡。この施設の完成により、これまで集会場所がなかった漁村地区に、研修等の出来る場所が確保されるとともに、赤崎地区の集会場として利用できるもので、地区住民の重要なコミュニティ機能を発揮するものと見込まれている。

現在工事は骨組が完了し内外装の工事に取りかかっており、完成は三月下旬になる予定。

三月下旬の完成を待つ漁村センター

舞鶴城公園の管理 ご苦労様でした

昭和五十三年一月より、六年半にもおよび舞鶴城公園を管理してこられた緒方孝行氏（八二歳）が高齢等の理由で管理人を辞められることとなった。

これまでの登頂は八二〇回にもおよび、除草作業・清掃作業・苗木の植栽等が主となっていた。

氏は本丸広場（公園内）の約半分が叔父の故緒方佐寿氏の土地であったため、親族に申し出て無償提供していただくなど、この公園に対して多大な協力をしていただいた一人でもある。

〝永い間、ほんとうにご苦労様でした。〟

青春ing 7

岩崎　忍さん
S40.11.26生まれ 20歳
商工会勤務 血液型B型

ドライブが主で、正月初日の出を拝みに友人達と行きましたが、あいにく天気が悪く拝めなかったのが残念でした。

旅行は
友人達と行きさきもわからずあてもなくただ道がある限りそこへ行きいろんな事を体験し経験するような旅をしたい。

理想のタイプ
やさしさを面に出さないクールな人

夢は
友人達と合同結婚式を挙げること

青春とは
夢を追い何んにでもチャレンジすること

B&G連絡協議会発足

会長に津奈木町長

去る一月二十二日、午前十時半より、本町において「B&G財団地域海洋センター連絡協議会」の式典が挙行された。この協議会はB&G施設を持つ自治体が相互の連携を密にし、情報交換及び調査研究を行い、海洋センターの発展と効率的な運営に資するとともに、将来を担う青少年の健全育成を図ることを目的としている。

式には六車町長をはじめ、長洲・湯前・砥用・泗水・城南・岱明・南関の各町長と、今年竣工予定の三角・白水の町村長が出席、又、来賓に熊本県出納長・中北清嗣B&G財団専務理事・熊本県秘書課長・県芦北事務所長を迎え、本協議会の設立となったものである。

式の内容は会則を定めた後、役員の選出を行った。結果、会長に六車町長が選ばれ、本町は以前にも増し県下のB&G海洋センターの中心をなすことになり、今後の活動が期待される。

その他の役員は次のとおり。

▽副会長　有田泗水町長・宮部城南町長▽理事　豊永湯前町長・坂野岱明町長・北原南関町長・吉田三角町長・小室白水村長▽幹事　宮田長洲町長・鈴木砥用町長▽顧問　細川県知事・中北B&G財団専務理事▽事務局長　諫山津奈木町助役

B&G財団地域
センター連絡協議会発会式
△役場三階会議室にて

お知らせ

三種混合及び二種混合の予防注射

三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）及び二種混合（ジフテリア・破傷風）の予防注射を次の日程で実施しますので、母子健康手帳御持参の上受診下さい。

一、実施日時
昭和六十一年二月十二日(水)
午後一時三十分〜二時三十分
二、実施場所
津奈木町改善センター
三、対象児
昭和五十七年一月一日から昭和五十八年十二月三十一日までの出生児

新固定資産評価審査会委員決まる

津奈木町固定資産評価審査会では、二委員の任期満了に伴い昨年十二月二十三日津奈木町定例議会において、承認がなされました。新委員は、次のとおりです。

日添部落　佐々木太蔵
新川部落　濱本繁己

裁判所不動産競売の期間入札

入札期間
昭和61年2月5日から
同　年2月12日まで

入札物件については当裁判所書記官室で物件明細書・評価書等（写し）を閲覧してください。

℡ 0965・32・2175
八代市西松江城町一ー四一
熊本地方裁判所八代支部

原爆死没者の調査に御協力を！

厚生省では、現在、原子爆弾による被災の実態を把握するため、原爆死没者に関する資料を収集しています。官公署・団体などの調査報告や記録・学徒報国隊や学徒挺身隊の名簿・学校の学籍簿や同窓会名簿・企業の職員名簿・病院の診療録や死亡診断書・寺院の保存するり災者名簿、その他御家族・親戚・友人などで原爆により亡くなられた方の御名前がわかる資料など、どのようなものでも結構ですので、資料をお持ちの方、あるいは資料がある場所を御存知の方は、次の所へ御連絡下さい。

「連絡先」熊本県衛生部　保健予防課、「電話」三八三ー一一一一

県営住宅入居者募集

県営住宅東本町団地（新築九十戸）の入居者を次のとおり募集します。

〈入居申込資格〉
現に住宅に困窮し、公営住宅法に定められた入居基準に合致する者
〈申込用紙配付期間〉
昭和六十一年二月十日から昭和六十一年二月十五日まで
〈申込受付期間〉
昭和六十一年二月十七日から昭和六十一年二月二十一日まで
〈抽選日〉
昭和六十一年三月三日
〈入居予定日〉
昭和六十一年四月一日
〈用紙配付・受付場所〉
熊本県住宅供給公社
（熊本市水前寺六丁目五番十九号）

※その他詳しくは、熊本県住宅供給公社（〇九六・三八二・四六〇〇）にお尋ねください。

確定申告は早めに

昭和六十年分の所得税の確定申告は、二月十七日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、長い時間お待ちいただくようなことになりかねません。申告は早めに済ませましょう。

また、申告書を書くときは、「申告書の書きかた」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、自分で正しく記入してください。

申告のことでお分かりにならないことがありましたら、最寄りの税務相談室や税務署でお尋ねください。

○　納税相談

次の日程で納税相談を行いますので、所得の計算の仕方や申告書の書き方等でお分かりにならない方は、御来場ください。

日程は次のとおりです。

一、期日
二月十七日（月）漁業を除く
二月十八日（火）漁業のみ
二、場所
津奈木町役場三階会議室
三、時間
午前九時より午後五時まで

町職員人事異動

一月一日付（　）は旧職

〔課長級〕
▽町民課長（企画課長）松本好栄▽企画課長（町民課長補佐）篠原保智▽保育園長（議会事務局長）斉藤五助▽議会事務局長（農林水産課長補佐）真野嘉一▽農業委員会事務局長（税務課長補佐）竹本茂人

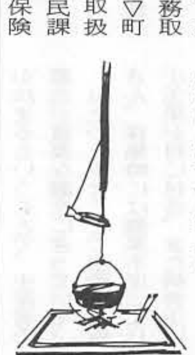
〔課長補佐級〕
▽総務課長補佐兼総務係長事務取扱（企・課長補佐）福島伸佳▽企画課長補佐兼企画係長事務取扱（農・農政係長）浜田久米男▽税務課長補佐兼賦課第一係長事務取扱（総・課長補佐）川添耕生▽町民課長補佐兼住民係長事務取扱（町住民係長）堀　和弘▽町民課長補佐兼保険係長事務取扱（保険係長）吉本洋二▽農林水産課長補佐兼林務水産係長事務取扱（建設係長）上村八郎

〔係長級〕
▽町民課福祉係長（総・参事）新立満寿美・衛生係長（保育園主任保母）平野良子▽保育園主任保母（町・参事）西　京子▽建・建設係長（建・参事）山田豊隆▽農・参事（建・参事）鶴野耕人

〔一般職〕
▽建設課（農）新立啓介・（農業委員会）椎葉正盛▽農林水産課（建）葦浦祐一

▽町民課付（町民課長）元村　壮（保育園長）伊藤秀志▽農林水産課付（農業委員会事務局長）原田信男

〔臨時職〕
▽教育委員会（総）高塚ますみ▽総務課（教）伊藤多美子



一月の発注工事

工事名	事業量	工事費	工期（すべて61年1月25日より）
柞丸地区災害復旧工事	畑畦畔 9m	690,000円	昭和61年3月10日まで
高松1地区災害復旧工事	〃 16m	980,000	昭和61年3月15日まで
高松2地区災害復旧工事	〃 19m	1,050,000	昭和61年3月15日まで
柳迫1地区災害復旧工事	〃 13m	730,000	昭和61年3月15日まで
柳迫2地区災害復旧工事	〃 8m	1,020,000	昭和61年3月15日まで
八迫地区災害復旧工事	〃 13m	790,000	昭和61年3月15日まで
松葉地区災害復旧工事	〃 6m	590,000	昭和61年3月10日まで
明神地区災害復旧工事	〃 19m	750,000	昭和61年3月10日まで
柳田地区災害復旧工事	道路 9m	575,000	昭和61年3月10日まで
長浜1地区災害復旧工事	〃 9m	445,000	昭和61年3月10日まで
合串地区災害復旧工事	〃 4m	445,000	昭和61年3月10日まで
長浜地区災害復旧工事	畑畦畔 23m	3,200,000	昭和61年3月20日まで
中園線集落道整備工事	L＝336.7m W＝3.5m	15,050,000	昭和61年3月20日まで
林道芋川線舗装工事	L＝360m W＝3.6m	9,020,000	昭和61年3月25日まで

交通事故をなくそう

年末年始にかけて、県下で歩行者の交通死亡事故が五件発生しています。事故の特徴は次のとおりです。

○夜間に発生している。
○若者による事故が多発。
○原因は前方不注意によるもの。
○飲酒歩行中の事故が多い。

（交通事故を防止するために）
○速度の出しすぎに注意
○進路前方や周囲を良く確認
○市街地や人家の多い所では歩行者に注意
○歩行者も明るい服装に心がけ車両の直前横断や横断歩道外横断・酔っ払い歩行はやめましょう。

本町の年末年始の交通事故は次のとおりです。

交通事故件数	三件
死亡者	一人
傷者	三人

（交通安全推進員の方へ）
○シートベルトの着用推進を。

シートベルト着用で
1月23日上下門での事故、1ヶ月のケガですんだ

囲碁同好会一月例会

文化協会囲碁部門では、一月十九日午後一時より改善センター和室において、第十一回大会を開き十九名の棋士で熱戦を展開した。

成績は次のとおりです。

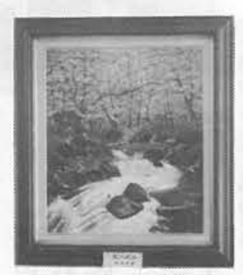
A組①石田重治（三段）②川尭一（一級）③諫山義一（初段）
B組①竹本茂人（三級）②高木政貴（二級）③川崎秀人（三級）

ご寄贈お礼

竹中出身湯浦在住、現在仕事の関係で福井県敦賀市にお住まいの浜田吉男氏より油絵を寄贈していただきました。

氏の作品である「秋の峡谷」と題すこの絵画は、紅葉真っ盛りの峡谷を色あざやかな色彩で描いたもので、役場庁舎の三階に飾られます。

ありがとうございました。


浜田吉男作「秋の峡谷」

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
日当	開田　正人	久市
倉谷	谷村　貞義	マシ
浜崎	木戸ツナヲ	利明
日添	川崎己代次	ハツノ
新川	宮川　章一	マツ子
古中尾	農原　文夫	ツギエ
桜戸	山崎フサエ	牧蔵
浜崎	本山　勝己	ハルミ

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。（敬称略）